

人生でかかるお金 いくら？

草潤中で金融リテラシー授業

人生にお金がいくら必要かを学ぶ金融リテラシー教育の授業が、岐阜市金宝町の草潤中学校で開かれ、2

年生を中心に13人がゲームを通じて人生設計の大切さを学んだ。

岐阜信用金庫の教育支援



ライフシミュレーションゲームを通じて金融リテラシーを学ぶ生徒ら＝岐阜市金宝町、草潤中学校

プログラム「ぎふしんマネーエデュ」の一環で、同校で開かれるのは4年目。第一フロンティア生命が考案した「ライフシミュレーションゲーム」を使い、さまざまな形式でライフイベントとそれに伴うお金の収支を体感した。

進学、就職、結婚など進路選択の局面で、思いがけない臨時収入や住宅購入の支出の大きさに、生徒らは一喜一憂していた。人生を終えて残ったお金を計算してゲームは終了。生徒らは「生活にはお金がかかる」「老後に備えないと」などと感想を述べていた。

2年の佐藤杏名さんは「大学進学にかかる金額に驚いた。借金は絶対駄目」

と感心した様子。若原康司教頭は「自分の夢を実現するためにはお金が大切、と理解する好機」と授業の意義を話した。(大堀留美)